

科学的根拠で実態を理解する

健診検査項目の健診判定値

			1 次	2 次	3 次	科学的根拠		
			発病を予防する	保健指導判定値 早期発見、早期治療をする。血管変化の予防	受診勧奨判定値 発病後、進行を抑制し、再発や重症化を防ぐ			
基本的な健診の項目	血管が傷む (動脈硬化の危険因子)	内臓肥満	BMI	~24.9	25.0~		日本肥満学会 肥満症ガイドライン (2006)	
			ウエスト周囲径	男性 ~84cm 女性 ~89cm	男性 85cm~ 女性 90cm~			日本肥満学会 肥満症ガイドライン (2006)
			中性脂肪	~149※	150~299	300~※	動脈硬化性疾患 予防ガイドライン (2007)	
			HDLコレステロール	40~※	35~39	~34 ※		
	インスリン抵抗性	血糖	空腹時	~99※	100~125	126~※	日本糖尿病学会: 糖尿病治療ガイド (2006) 老人保健事業における 糖尿病指導区 分に 関する 検討(2002)	
				~109	110~125	126~		
		HbA1c	~5.1※	5.2~6.0	6.1~※			
			~5.4	5.5~6.0	6.1~			
	尿糖	(-)	(+)	(++)~				
	傷つける 血管を	血圧	収縮期	~129※	130~139	140~※	日本高血圧学会: 高血圧ガイドライン (2004)	
			拡張期	~84※	85~89	90~※		
	腎臓	尿蛋白	(-)	(+)	(++)~	CKD診療ガイド 日本腎臓学会編 (2007)		
		クレアチニン	男 ~1.29 女 ~1.19	男 1.30~1.99 女 1.20~1.99	2.0~			
		GFR (糸球体ろ過量)	90~	89~51	~50			
		尿酸	~6.9	7.0~7.9	8.0~			日本痛風・核酸代謝 学会:高尿酸血症・痛 風の 治療ガイドライン(2002)
その他の 動脈硬化 危険因子	LDLコレステロール	~119※	120~139	140~※	日本動脈硬化学会: 動脈硬化性疾患予防 ガイドライン(2007)			
詳細な健診の項目	血管変化	血管損傷が わかる項目	心電図	異常なし	軽度所見あり	要医療	老人保健事業における 糖尿病指導区分に 関する検討(2002)	
			眼底検査	H0S0	H1S1	H2S2~H3S3		
	易性変化 血管の	ヘマトクリット	~45%	46~ %	%~	WHO貧血の判定基準		
		血色素 (ヘモグロビン)	男性13.1g/dl~※ 女性12.1g/dl~※	男性13.0~12.1g/dl 女性12.0~11.1g/dl	男性~12.0g/dl※ 女性~11.0g/dl※	人間ドック学会:人間ドック成 績判定及び事後指導に 関するガイドライン		

※標準的健診・保健指導ガイドライン(確定版)(2007)健診検査の健診判定値(P48)

糖尿病の診断基準

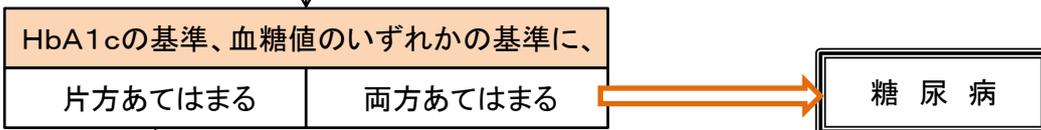
日本糖尿病学会, 2010

診断には血液検査が必要です

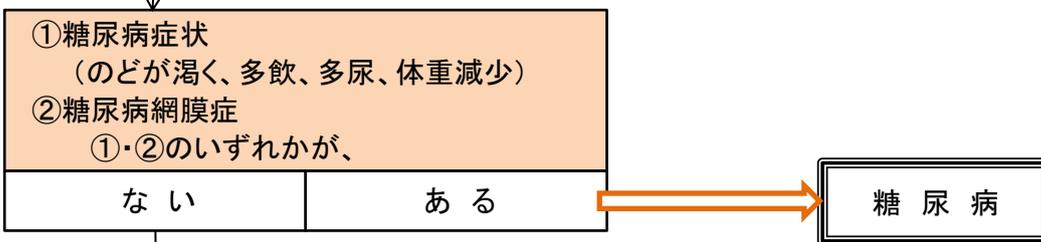
初回



いずれか

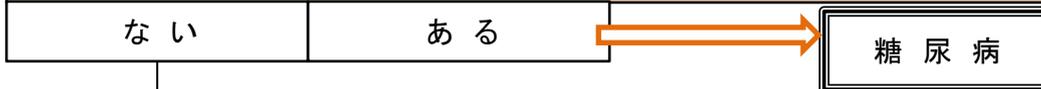
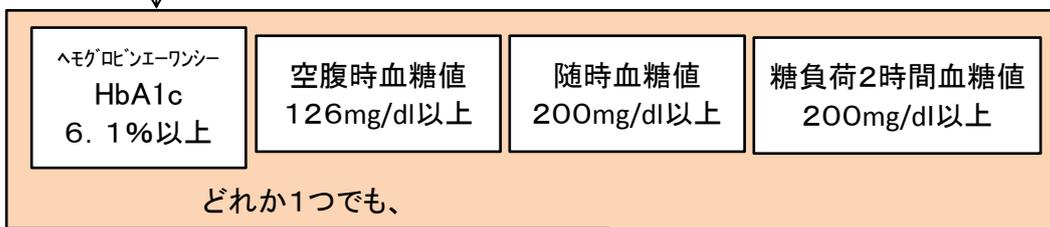


糖尿病型



別の日

再検査



糖尿病疑い その後、フォローしていく。

初回検査か再検査で、血糖値の基準を満たしていることが必要。

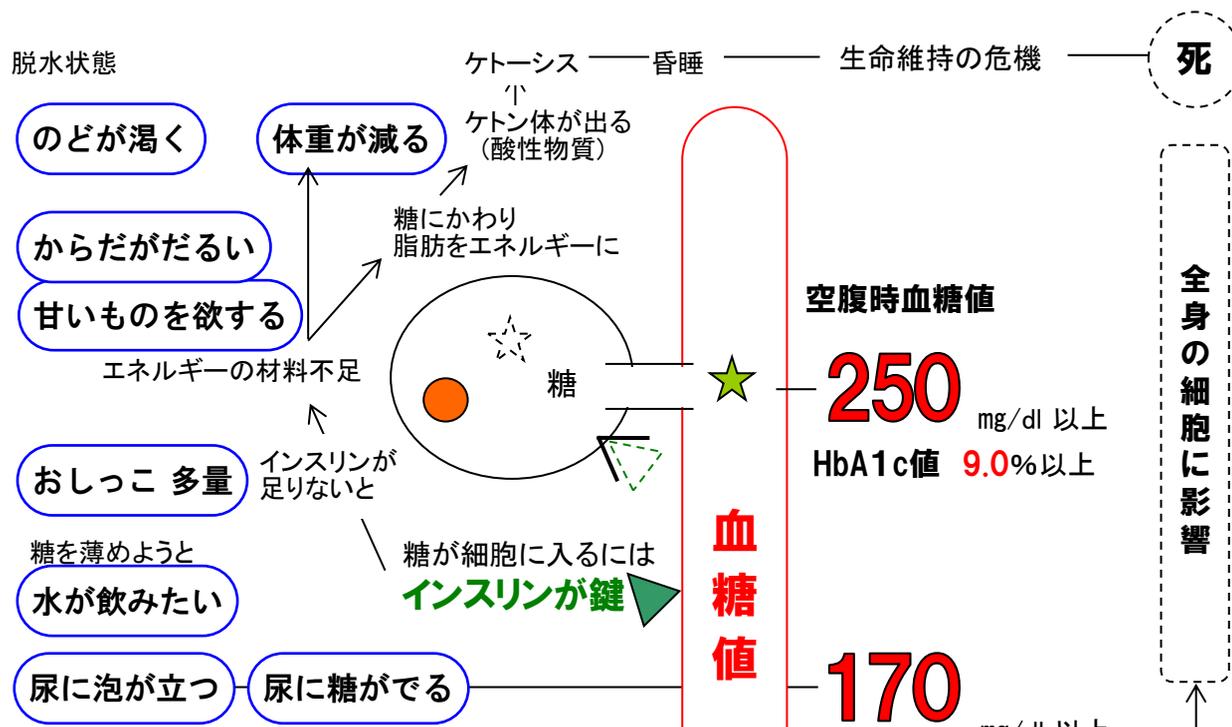
ヘモグロビンエーワンシー

HbA1c が、以前より重視されるようになりました。

- ★1回の検査でも診断が可能になり、通院回数が少なく済む
- ★早期診断で、早い段階から治療を開始、合併症予防につながる

「症状がないから大丈夫!!」 と思っていませんか？

① 住民の方々が思う 糖尿病の症状は？



② つぎの症状は 糖尿病の症状だと思いますか？

- ・物が見えづらい
- ・ぼんやり見える
- ・胃の調子が悪い
- ・下痢と便秘をくり返す
- ・冷える、ほてる、異常に汗をかく
- ・疲れていないのに足がつる
- ・手足のしびれ
- ・足の感覚の違和感
- ・手足がむくむ
- ・尿に蛋白が出る
- ・胸痛
- ・ろれつが回らない、めまい
- ・物忘れ

これらの症状は、見逃されることが多く
糖尿病の方の**3人に1人**は
自分が **糖尿病だと気づいていない** と言われています

その間に何が起きているのでしょうか



